

プレスリリースー 2026 年 9 月 17 日 午前 12 時 (中央ヨーロッパ時間) 情報解禁
情報解禁前の公開禁止

ブランパン Lady B

可憐で、丸みをおびた、メカニカルウォッチ。



レディバード コレクションの 70 周年を祝し、ブランパンは 1956 年のレディバード プレットにオマージュを捧げます。この歴史的なレディスウォッチは、女性として初めてスイスの時計メゾンを率いたブランパン CEO のベティ・フィスターの指揮のもと、ブランパンによって生み出されました。

レディバード プレットは、世界最小の丸型ムーブメントを搭載した、時計製造における画期的なタイムピースでした。そして今日、ブランパン Lady B は、ブランパンが受け継いできた機械式時計の小型化の伝統が受け継がれています。

クォーツ式時計を製造しないというメゾンの信念に忠実に、ブランパン Lady B には、自社製キャリバー615 を搭載。現代における最小クラスの自動巻きの機械式ムーブメントのひとつです。

直径 19mm、わずか 2.9cm³の球形ケースに、ダブルトゥールのカーフレザーストラップを組み合わせたブランパン Lady B は、まさにメカニカルジュエリーと呼ぶにふさわしい仕上が

ウェブサイト : <https://www.blancpain.com/ja> / プレスラウンジ : <https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>



プレスリリースー2026年9月17日午前12時（中央ヨーロッパ時間）情報解禁
情報解禁前の公開禁止

りです。スチールまたは 18K レッドゴールドで展開されるブランパン Lady B は、レディバード コレクションに新たな一章を刻みます。

主な特徴：

- B は、ブランパンの B。レディバード コレクションの誕生 70 周年を祝して。
- ブランパン Lady B には、ベティ・フィスター、1950 年代のデザイン、そして機械式時計の小型化という 3 つのストーリーが語られます。
- ブランパン Lady B は、スイスの時計メゾンを率いた初の女性、ベティ・フィスターの指揮のもと、1956 年に誕生したレディバード ブレットから直接インスピレーションを得ています。
- レディバード ブレットは、1956 年に誕生したレディバード コレクション初のタイムピースです。
- 70 年以上にわたり、ブランパンは時計の小型化をメゾンのシグネチャーのひとつとしてきました。
- ブランパンの哲学に忠実に、メゾンはこれまで一度もクォーツ式時計を製造していません。そのため、ブランパン Lady B もまた、完全な機械式時計として誕生しました。
- 1956 年、キャリバー R55 は、量産された丸型機械式ムーブメントとして世界最小サイズを誇りました（11.85mm × 3.7mm）。ブランパン Lady B は、現代における最小クラスの自動巻き機械式ムーブメントのひとつであるマニファクチュール キャリバー 615（15.7mm × 3.9mm）を搭載し、そのレガシーを受け継いでいます。
- ブランパン Lady B は、直径 19mm、体積わずか 2.9cm³ の球形ケースによって際立つ個性を放ちます。
- ダブルトゥールのカーフレザーストラップは、ホワイト、ベージュ、モカ、バーガンディ、ブルー、コーラル、パープルの 7 色からお選びいただけます。手首に二重に巻くデザインによって、ジュエリーのように身に着けることができます。
- ストラップは時計裏側のスロットに通す構造となっており、簡単に交換できます。
- スチールまたは 18K レッドゴールドで展開されるブランパン Lady B は、限定モデルではありません。レディバード コレクションに新たな一章を開くタイムピースです。
- ブランパン Lady B は、2026 年 9 月 17 日よりブランパン ブティックおよび正規販売店にて取り扱いが開始されます。

プレスリリースー2026年9月17日午前12時(中央ヨーロッパ時間)情報解禁
情報解禁前の公開禁止

B は、バブルフォルムの B

1950年代半ば、世界は進歩に対して、どこか純粹ともいえる揺るぎない自信を抱きながら未来を見つめていました。それは、やがて宇宙時代へとつながっていく、テクノロジーへの楽観に満ちた時代でした。科学、革新、そして未来への憧れが、視覚文化を大きく変えていったのです。建築、インダストリアルデザイン、自動車、ファッションは新たな姿へと生まれ変わり、直線的な造形は有機的なフォルムへと移り変わっていきました。

1956年、エーロ・サーリネンは、大小両方のデザインを手がけました。一本脚の台座によって家具デザインに革新をもたらした「チューリップチェア」、そしてニューヨークの象徴的な「TWA フライトセンター」です。チャールズ&レイ・イームズは有機的なフォルムの探求を続け、一方でイサム・ノグチは彫刻とオブジェの境界を曖昧にしていきました。クリストバル・バレンシアガは、「サックドレス (1957年)」、そして「ベビードール (1958年)」によって女性のシルエットに革新をもたらします。自動車の世界では、ゼネラルモーターズの「ファイヤーバード III (1958年)」が、象徴的なバブルコックピットによって立体的なボリュームを称えました。ブリュッセルでは、「アトムウム (1958年)」が球体を万国博覧会の象徴へと高め、1950年代のデザインと楽観主義を最も長く記憶にとどめるシンボルのひとつとなりました。

レディバード ブレットは、まさにこの創造的な時代背景の中で誕生しました。そして今、ブランパン Lady B は、その球形ケースを通じて、1950年代のバイオモルフィックなデザイン言語を受け継ぎながら、その精神を現代に蘇らせます。

ブランパン Lady B - 1956年に生まれたアイデア

ブランパン Lady B は、単なる復刻ではありません。1956年に生まれた、シンプルでありながら大胆な発想 - すなわち、ジュエリーほどのサイズの中に本格的な時計製造を収めるというアイデアを、現代的に再解釈したタイムピースです。レディバード ブレットの精神に忠実でありながら、そのラインをそのまま写すのではなく、原点にある構想を受け継いでいます。

このビジョンは、時計の開発全体を導く軸となりました。その構造は、ブランパンの自動巻きキャリバー615を中心に設計されています。プロジェクトの初期段階から、このムーブメントの技術仕様を前提として、球形ケース、サファイアクリスタル、ポリッシュ仕上げのインナーリング、ケースを貫く一体型ストラップ、そして防水性能が並行して開発されました。これにより、かつてないほど小さな容積の中に、機械式ムーブメントを収めることが可能となったのです。

ウェブサイト : <https://www.blancpain.com/ja> / プレスラウンジ : <https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>



**プレスリリースー2026年9月17日午前12時（中央ヨーロッパ時間）情報解禁
情報解禁前の公開禁止**

ブランパン Lady B は、伝統的なラウンドウォッチでも、いわゆるシェイプウォッチでもありません。ストラップを通すループはケースと一体化しており、ラグや目に見えるアタッチメントを持たず、ケースを直接貫く構造となっています。平面的なデザインではなく、立体として構想されたブランパン Lady B は、腕元に纏う、機械式のバブル。彫刻のような存在感を放つタイムピースです。

クォーツ時計は一本も存在しない

ブランパン Lady B は鼓動しています。そして、その事実がすべてを変えます。ブランパンは、これまで一度もクォーツ時計を製造したことがありません。時計業界が大きく変化した1970年代のクォーツショックの時代にも、そして今日においても。決してありません。1735年以来、この選択は戦略ではなく、哲学です。ブランパンが生み出すすべての時計は、何よりもまず機械式時計であることを前提としています。したがって、ブランパン Lady B もまた、完全な機械式タイムピースとして誕生しました。

ブランパン Lady B の心臓部

ブランパン Lady B を駆動するマニユファクチュール キャリバー615 は、直径 15.70mm、厚さ 3.90mm のムーブメントです。180 個の部品、29 石で構成され、38 時間のパワーリザーブを備えています。振動数は 3 Hz (21,600 振動/時) です。プレートにはコート・ド・ジュネーブ仕上げが施されています。ケースバックの形状は、このローター特有の軌道に対応するように設計されています。1995 年に発表されたマニユファクチュール キャリバー615 は、その後も継続的に改良を重ね、シリコン製ヒゲゼンマイの採用をはじめとする技術的進化の恩恵を受けてきました。数十年にわたる進化により、キャリバー615 は信頼性と堅牢性に定評のある、実績あるムーブメントとして確立されています。

立体として構想された時計：2.9cm³

伝統的な時計が直径によって語られるのに対し、ブランパン Lady B のサイズは体積によって定義されます。2.9cm³。時計製造においては珍しい測定単位ですが、平面上に描かれるのではなく、空間の中で構想されたオブジェには、まさにふさわしい尺度です。直径 19mm、厚さ 13.2mm のブランパン Lady B は、磨き上げられた小石のように手のひらに収まります。そのフォルムは、自然と触れたくなるような魅力を備えています。手のひらにのせることは、

ウェブサイト : <https://www.blancpain.com/ja/> / プレスラウンジ : <https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>



**プレスリリースー2026年9月17日午前12時（中央ヨーロッパ時間）情報解禁
情報解禁前の公開禁止**

ひとつの感覚的な体験です。指先の下でローターが動き出し、かすかな振動が、内部に機械式の心臓が鼓動していることを思い出させてくれます。

目に見えない複雑さ

ブランパン Lady B は、究極のシンプルさを湛えています。しかし、そのケースは、この時計を構成する要素の中でも最も複雑なもののひとつです。わずか 2.9cm³ の球体を形にするために、30 枚を超える技術図面が必要とされました。ムーブメントを収めるため、ケースは上部と下部の 2 つのパーツで構成されています。ケースバックはベゼルよりわずかに小さく設計されており、時計を上から見たときには見えません。最大の課題は、この構造そのものを見えなくすることにあります。ベゼルとケースバックの接合線は、ボリューム、光、そしてポリッシュ仕上げの相互作用によって、意図的に目立たないようにされています。これほど小さな球体に、完全に連続したポリッシュ仕上げを施すことは、製造工程における大きな挑戦のひとつです。その結果、実際には見た目以上に複雑な構造でありながら、まるでひとつの塊から削り出されたかのような、一体感のあるフォルムが生まれました。

ストラップという挑戦

ブランパン Lady B にはラグがありません。ストラップは、無垢の金属に加工された開口部を通り、ケースを直接貫く構造になっています。10 × 1.6mm という極めて繊細な形状は、ひとつのパーツとして加工されています。内側にはマイクロブラスト仕上げが施され、レーザーがなめらかに通るよう仕上げられています。一方で、シャープなエッジやローレット加工が施されている部分は、オートオルロジュリーの伝統的な仕上げ技法に基づき、カボション工具を用いてすべて手作業で仕上げられています。このスケールにおいては、わずかな手の動きひとつが決定的な意味を持ちます。

最も小さなディテールの仕上げ

スチールと 18K レッドゴールドで展開されるケースは、すべて手作業で仕上げられています。ポリッシュ仕上げ、サテン仕上げ、マイクロブラスト仕上げは、すでに組み上げられた時計に対して順を追って施されます。それぞれの面は、次の工程に移る前に丁寧に保護されます。エングレービングでさえ、レーザーだけに委ねられることはありません。マニュファクチュールが求める深さ、シャープさ、仕上げの品質を実現するため、機械式カッターによって加工されます。ブランパン Lady B は、時計製造における複雑さが、必ずしも複雑機構

ウェブサイト : <https://www.blancpain.com/ja> / プレスラウンジ : <https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>



プレスリリースー2026年9月17日午前12時（中央ヨーロッパ時間）情報解禁
情報解禁前の公開禁止

だけに宿るものではないことを思い出させます。複雑さは、わずか 2.9cm³ のオブジェを完璧に仕上げることも存在するのです。

抑制の美学

ダイヤルは、究極のピュアさを湛えています。スチールモデルと 18K レッドゴールドモデルで共通するこのダイヤルは、ゴールドインレイによって生み出された温かなベージュのオパリンカラーを纏います。あえてセッティングを施さず、素材と光そのものに語らせています。ブランパンの伝統に倣い、アプライドバーインデックスはゴールド製です。わずか 1.82 × 0.39mm というサイズのインデックスは、ブランパン Lady B における驚くべきミニチュア化の水準を物語ります。上面と側面にはポリッシュ仕上げが施され、繊細に光を捉えます。2 本の針は、意図的に控えめなデザインとされ、ピュアさと視認性を追求する姿勢を引き継いでいます。全面にポリッシュ仕上げが施されたインナーリングは、鏡のような役割を果たします。その反射がケースの曲線を広げ、ひとつの塊から削り出された球体のような印象をさらに強めます。装飾のためだけの要素はありません。過度に視線を引こうとするものもありません。ダイヤルが示すのは、見る人の目が自然に選び取るものだけです。すなわち、時刻と控えめなブランパンロゴ。リュースには JB のイニシャルが刻まれ、ブランパンの歴史へのもうひとつのオマージュとなっています。

ジュエリーのように身に着ける時計

それぞれのブランパン Lady B には、ダブルトゥールのカーフレザーストラップが組み合わされます。カラーは、ホワイト、ベージュ、モカ、バーガンディ、ブルー、コーラル、パールの 7 色からお選びいただけます。ピンバックルで留めるストラップは、手首に自然に巻きつき、ブランパン Lady B を真のジュエリーへと変化させます。テーラードスーツに寄り添い、白いシャツの袖口の内側にさりげなく収まり、ブレスレットやリングのコレクションと響き合い、あるいはそれ自体で存在感を放ちます。ブランパン Lady B は、スチールおよび 18K レッドゴールドで展開されます。

B は、ビジューの B

単なる時計でも、単なるジュエリーでもありません。かつてのレディバードと同じように、ブランパン Lady B はひとつのカテゴリーに収まりきらない存在です。それは時計であり、ジュエリーであり、デザインオブジェでもあります。しかし、その一見シンプルな佇まいの

ウェブサイト : <https://www.blancpain.com/ja> / プレスラウンジ : <https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>



プレスリリースー2026年9月17日午前12時（中央ヨーロッパ時間）情報解禁
情報解禁前の公開禁止

奥には、1735 年以来ブランパンを導いてきたひとつの信念が宿っています。時計は、何よりもまず時計でなければならない、という信念です。その価値は、すぐに目に見えるものではありません。ケースを覆うダイヤモンドセッティングはなく、ダイヤルを彩るマザーオブパール也没有ありません。ブランパン Lady B は、それを身に着ける人、そして見るべきものを見極めることのできる人にだけ、その本質を明かします。この静かな佇まいの内側には、オートオルロジュリーの基準に則って装飾された自社製キャリバーが息づいています。

おそらく、ブランパン Lady B の逆説はここにあります。

- 現代的に見えながら、そのルーツはブランパンの歴史の奥深くに息づいています。
- シンプルに見えながら、数十年にわたる技術的創意を受け継いでいます。
- ジュエリーのように姿を現しながら、揺るぎなく機械式であり続けています。

何よりもブランパン Lady B は、これらの考えがトレンドとなるはるか以前に、ベティ・フィスターが理解していたことを私たちに思い起こさせます。知性、シンプルさ、そして美しさは、互いに相反する価値ではなく、ともに寄り添うものなのです。

ブランパン Lady B は、ブランパンにとって新たな歩みの始まりを告げるタイムピースです。

歴史を記念する時計もあれば、歴史を受け継ぎ、未来へとつなぐ時計もあります。ブランパン Lady B は、後者に属する存在です。

B は、ベティの B

1912 年、彼女はスイス・ジュラ山脈のヴィルレにあるブランパンの工房で見習いとしてキャリアを始めました。当時、彼女は 16 歳でした。1968 年に退職するまでに、彼女はマニュファクチュールのオーナーとなり、スイスの時計マニュファクチュールを率いた初の女性となるという、卓越したキャリアを築き上げました。この驚くべき偉業は、女性にまだ参政権が認められていなかった時代において成し遂げられたものでした。

1932 年、ブランパン家の 7 代目にして最後の経営者であったフレデリック＝エミール・ブランパンが急逝し、メゾンには大きな転機を迎えます。2 世紀にわたる歴史の中で初めて、ブランパンの未来に暗雲が立ち込めたのです。事業を継承する意思を持つ一族の後継者がいない中、ベティ・フィスターと営業責任者のアンドレ・レアルは、大胆な決断を下します。複数の貸し手から融資を受け、マニュファクチュールを取得したのです。こうして 1933 年、

ウェブサイト : <https://www.blancpain.com/ja/> / プレスラウンジ : <https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>



プレスリリースー2026年9月17日午前12時（中央ヨーロッパ時間）情報解禁
情報解禁前の公開禁止

ベティ・フィスターはブランパンの共同オーナーとなりました。当時のスイスの法制度では、創業家の一員が経営の舵を取らない限り、社名としてブランパンの名を単独で使うことが認められていませんでした。そのため、マニュファクチュールは Fabrique d'Horlogerie Rayville S.A. (Rayville Watch Manufacturing Co. Limited) へと改称されます。Rayville は、Villeret の音を組み替えたアナグラムでした。

当時は大恐慌が猛威を振るい、スイス時計製造業界にとって極めて困難な時代でした。第二次世界大戦前夜に、パートナーであったアンドレ・レアルもこの世を去ります。ベティは、ひとりでメゾンの舵を取るようになりました。スイスの女性にまだ参政権が認められていなかったこの時代、（女性の参政権が実現するのは、1971年のことです。）ベティは女性として初めて200名を超える従業員を擁する時計マニュファクチュールのオーナー兼経営者となったのです。

彼女が掲げたビジョンは、ブランパンの国際的な存在感を、とりわけアメリカ市場において高めることでした。ブランパンは、グリュエン、ルシアン ピカール、エルジン、ハミルトンといったアメリカの主要メゾンにムーブメントを供給する重要な存在となる一方で、自社製造を際立たせる高度な技術力も守り続けたのです。

ベティが特に優れた洞察力を発揮した分野のひとつが、女性のための時計でした。彼女は、女性用タイムピースにも、他のあらゆる時計と同じように、独創性と機械式時計としての本質が求められることを理解していました。そして、この分野をブランパンの際立った強みのひとつへと成長させたのです。

1950年、甥であるジャン=ジャック・フィスターが彼女のもとで働き始めます。ベティは彼を経営陣に迎え入れる前に、事業のあらゆる側面を学ぶための1年間の研修プログラムを用意しました。その後、ベティの経験と実務的な判断力、そしてジャン=ジャックの好奇心と革新への意欲が結びつき、ふたりはその後20年にわたりブランパンの歩みを形づくっていきます。

ふたりは共に、1953年にフィフティ ファゾムス、そして1956年にレディバードと、現在のブランパンを語るうえで欠かすことのできない2つのタイムピースを生み出しました。

ベティ・フィスターは、マニュファクチュール以外では、ヴィルレの自宅、レマン湖畔のピュリーに構えた邸宅、そしてコート・ダジュールのカーニュ=シュル=メールにあるヴィラを行き来しながら過ごしていました。常に非の打ちどころのないエレガンスを纏っていた彼女は、天然真珠のネックレスやブローチを身に付け、ニナ リッチのレールデュタンをシグネチャーフレグランスとして愛用していました。彼女の暮らしの傍らには、ジョルジュ・ルオー、ピエール=オーギュスト・ルノワール、マルク・シャガール、モーリス・ユトリロ、メアリー・カサット、ルネ・オーベルジョノワの作品がありました。

ウェブサイト : <https://www.blancpain.com/ja> / プレスラウンジ : <https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>



**プレスリリースー2026年9月17日午前12時（中央ヨーロッパ時間）情報解禁
情報解禁前の公開禁止**

ベティ・フィスターは、自らの功績が称えられることを望む人ではありませんでした。しかし彼女の存在なくして、ブランパンの歴史はまったく異なるものになっていたでしょう。彼女は、極めて不確実な時代を乗り越え、マニファクチュールを守り抜きました。そして、女性用の機械式時計がまだ正当に評価されていなかった時代に、その価値を力強く支持しました。さらに彼女は、今日のブランパンを導く価値観 - 控えめであること、本質を備えていること、そして機械式時計製造の永続的な価値に対する揺るぎない信念 - を築くのに貢献しました。ベティは、ヴィルレで働く従業員たちだけでなく、村全体からも深く愛される存在となりました。歴史ある工房を見下ろす丘の上に佇む彼女の胸像は、その人生と功績を今に伝える永続的な記念碑です。

ブランパン Lady B は、彼女の残したレガシーそのものなのです。

R52/R55、世界最小の丸型ムーブメント

1956 年のレディバード ブレットに込められたブランパンの志は、極めて大胆なものでした。それは、世界最小の丸型機械式ムーブメントを生み出すだけでなく、堅牢性をも兼ね備えたムーブメントを実現することでした。その成果は、ミニチュア化における大きな偉業となりました。直径わずか 11.85mm のオリジナルのレディバード キャリバーは、2 つの重要な革新によって、記録的な小型化と確かな堅牢性を両立させたのです。

第一の革新は、輪列に 5 番車を追加したことでした。一般的な機械式ムーブメントは、香箱から秒車に至るまで 4 つの部品で構成されています。ベティ・フィスターの解決策は、そこにもうひとつの車を加えることで、脱進機へ伝わる力を制御し、キャリバー全体の寸法を抑えるというものでした。第二の革新は、テンプに耐衝撃機構を備えたことです。当時、多くの極小ムーブメントでは耐久性を犠牲にしてこの機構が省かれていました。しかしブランパンは、レディバード キャリバーの極めて小さな寸法に適応する形でこの機構を組み込む方法を見出しました。その結果、指先ほどのサイズでありながら、当時の他の小型キャリバーとは異なり、堅牢なムーブメントが誕生したのです。

その結果として誕生したのが、サイドウィンド仕様のキャリバー R55 です。その後すぐ、派生型としてバックウィンド仕様のキャリバー R550 も加わりました。後者は、リュースを時計の裏側に隠すことでケース側面をすっきりと保ち、ジュエラーたちに新たな表現の領域を開きました。一方、R55 は 3 時位置にクラシックなリュースを備えています。いずれのキャリバーも 3Hz の振動数で駆動し、個別に加工された 133 個の部品で構成されています。それらの部品は、1/2000mm という極めて厳格な許容範囲で検査されました。当時の広告で「例外的に重い」と表現されたテンプには、22 個の無垢ゴールド製ビスが取り付けられ、40 時間以上のパワーリザーブを実現しています。

ウェブサイト : <https://www.blancpain.com/ja/> / プレスラウンジ : <https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>



**プレスリリースー 2026 年 9 月 17 日 午前 12 時 (中央ヨーロッパ時間) 情報解禁
情報解禁前の公開禁止**

R55 は現在に至るまで、量産された丸型機械式ムーブメントとして世界最小の存在であり続けています。

発表当時、ブランパンはレディバードを「技術的な奇跡」として紹介しました。1956 年のバーゼルで開催されたスイス産業見本市で披露されたこのタイムピースは、「通常サイズの時計が持つ全ての精度と信頼性」をかつてないほど小さなサイズの中に凝縮しているとして称えられました。

R55 の成功は、瞬く間にブランパンの枠を超えて広がりました。その細密な構造は、オメガやロンジンをはじめとする多くの時計メゾンに魅了し、各社は自らのクリエイションにこのムーブメントを採用しました。ブランパンにおいても、R55 はまったく新しい表現の領域を切り拓きました。つまり、極めて小さなサイズから、数々のジュエリーウォッチを生み出すきっかけとなります。ゴールドブレスレットやカフウォッチ、装飾石をセットしたバングル、コーラルやハードストーン、ダイヤモンドを組み合わせた大胆な構成、さらにはリング、ペンダント、カフリンクスへと、その可能性は広がっていきました。キャリバーの小型化は、デザイナーにかつてない創造の自由をもたらし、レディバードをジュエリー表現の真の実験場へと昇華させたのです。

ブランパンのアーカイブに極めて良好な状態で保存されている、これら約 30 点の歴史的なクリエイションが、レディバードの世界に捧げる巡回展で初めて一堂に会します。

2026 年、本展はブランパン ニューヨーク (9 月 14 日から 20 日)、ブランパン 上海新天地 (9 月 17 日から 27 日)、ブランパン パリ フォーブール・サントノーレ (10 月 15 日から 24 日)、東京・表参道の StandBy ギャラリー (10 月 17 日から 25 日)、ソウルの Youthquake (11 月 11 日から 15 日) を巡回します。2027 年以降も、さらなる都市での開催を予定しています。

プレスリリースー2026年9月17日午前12時（中央ヨーロッパ時間）情報解禁
情報解禁前の公開禁止

技術詳細

ムーブメント

キャリバー: ブランパン マニファクチュール キャリバー 615

巻き上げ方式: 自動巻き

直径: 15.70 mm

厚さ: 3.90 mm

部品数: 180

石数: 29

振動数: 3 Hz (21,600 振動/時)

パワーリザーブ: 38 時間

装飾: コート・ド・ジュネーブ仕上げ

ヒゲゼンマイ: シリコン製

ケース

素材: スティールまたは 18K レッドゴールド

直径: 19.00 mm

厚さ: 13.20 mm

体積: 2.9 cm³

防水性能: 3 気圧 (30 m)

構造: ブレスレットを通す一体型の開口部を備えた 2 パーツ構成のケース

文字盤

カラー: オパリン

装飾: なし

インデックス: ゴールド製のアブライド ポリッシュ仕上げスティック針（レッドゴールドモデルはレッドゴールド製、スティールモデルはグレーゴールド製）

針: 時、分

ストラップ

素材: カーフレザー

タイプ: ダブルトゥールのカーフレザーストラップ

ウェブサイト: <https://www.blancpain.com/ja> / プレスラウンジ: <https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>



プレスリリース — 2026 年 9 月 17 日 午前 12 時（中央ヨーロッパ時間）情報解禁
情報解禁前の公開禁止

幅: 10 mm

バックル: ピンバックル

色展開: ホワイト、ベージュ、モカ、バーガンディ、ブルー、コーラル、パープル

限定生産ではありません

価格: CHF 9,500 for the stainless steel one / CHF 14,500 for the red gold one